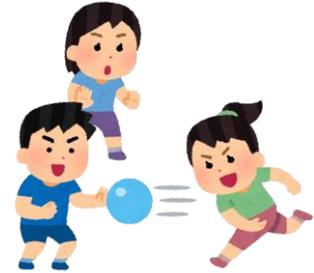


令和4年度 学校だより 学校評価特別号	名古屋市立矢田小学校 〒461-0048 名古屋市東区矢田南4-4-1 TEL 052-721-2508 (電話・来校者対応時間 平日7:45~18:00) <a href="http://www.yada-e.nagoya-c.ed.jp/">http://www.yada-e.nagoya-c.ed.jp/</a>
 <b>学校と家庭、地域をつなぐ 矢田だより</b>	
発行日 令和5年3月3日(金)	

## 学校評価の結果と改善点をお知らせします

本校の教育活動を振り返り、成果や問題点を明らかにし、改善を図ることを目的として、学校評価を実施しました。保護者のみなさまにはアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。ここに、結果をお伝えするとともに、今後改善すべき点を明らかにして、よりよい教育活動を進めていきます。



### 評価結果の見方について

教職員の自己評価、保護者アンケート、児童アンケートを比較・検討しました。

- ① A(よくあてはまる)を4点、B(だいたいあてはまる)を3点、C(あまりあてはまらない)を2点、D(まったくあてはまらない)を1点として計算・平均化しました。
- ② 平均点が3.2点(80%)を超えればおおむね満足とし、◎の判定を、3点未満のものについては、対策が必要であると考え、△の判定をしました。
- ③ 令和3年度と4年度で共通している評価指標の平均点と判定については、比較できるように、( )内に令和3年度の結果を示しました。
- ③ 簡単な分析や今後の課題とすべきことを、➡以降にゴシック体で記述しました。今後の改善に生かしていきたいと考えています。

### アンケート1 年度目標「ナゴヤスクールイノベーション 実践校」としての取り組み

評価指標		平均点	判定
教職員	子どもが、学びの過程で自己選択、自己決定できるよう、指導を工夫した。	3.5	◎
保護者	子どもが、学びの過程で自分が選んだり、自分で決めたりするように取り組んでいる。	3.3	◎
児童	わたしは、学びの過程で、自分で選んだり、自分で決めたりしながら、活動することができた。	3.4	◎

- ➡ 本校では、今年度も引き続きモデル事業に取り組みました。「探究的な学びを重視した総合・生活科の学習」と、「プロジェクト型学習の要素を取り入れた教科学習」の二つの柱で、実践を進めてきました。

具体的には、取り組む課題や時間、活動のゴールを自分で選んだり決めたりして、主体的に学習に取り組む姿が見られました。自己選択、自己決定を繰り返す中で、ゴールに向かって試行錯誤しながら学習を進めることができました。



【試行錯誤しながらゴールに向かって学びを進める様子】

教職員	子どもが、人や社会と協働できるよう、指導を工夫した。	3. 5	◎
保護者	子どもが、友達や保護者、地域の方々など様々な人と関わりながら課題を解決するように取り組んでいる。	3. 2	◎
児童	わたしは、友達やおうちの人、地域の方々など様々な人と関わりながら課題を解決することができた。	3. 3	◎
②	<p>➡ 本校が進める「わくわく学習」に取り組む三つの視点の一つに「協働化」があります。様々な方と関わりながら学びを深めて行くことができるように、学習を進めています。</p> <p>単元を通して、様々な大人と関わったり、友達とともに考えたりしたことが課題発見や追究の深まりにつながりました。また、学習成果の発表を見てもらうことを通して、自らの成長や充実感につなげることができました。</p>		

【名古屋の有名な喫茶店の方から学ぶ様子】

アンケート2 年度目標 「キャリアサポートモデル」の取り組み

評価指標		平均点	判定
教職員	子どもが、自己肯定感を高められるように、指導を工夫した。	3. 5	◎
保護者	子どもが、自分のよさや頑張りに気付き、自己肯定感を高められるように取り組んでいる。	3. 1	○
児童	わたしは、自分のよさや頑張りに気付くことができた。	3. 3	◎
③	<p>➡ 子ども自身が「自分のよさ」を意識して、自己肯定感を高めることができるような声掛けを、様々な場面で行いました。また、キャリアパスポートを学期始めと学期終わりに記入して自分の目標を設定したり、振り返ったりすることで、自分のよさや頑張りに気付く子どもも多くいました。今後は、各学級での取り組みや声掛けの方法を教員間で情報交換をしながら、学校全体の取り組みとして広げていくことが課題です。</p> <p>各ご家庭におかれましても、子どもの頑張りのよさについて認め、励ます声掛けをしていただくことで、学校の取り組みとの相乗効果で、より一層、自己肯定感を高めることが期待できます。ご協力、よろしくお願いいたします。</p>		
教職員	子どもが、他者を理解し、認め合うことができるように、指導を工夫した。	3. 5	◎
保護者	子どもが、友達のよさに気付いたり、互いのよさを認め合ったりすることができるように取り組んでいる。	3. 3	◎
児童	わたしは、友達のよさに気付いたり、互いのよさを認め合ったりすることができた。	3. 6	◎
④	<p>➡ 今年度はキャリア関連行事として「矢田シティ」を実施しました。行事の振り返りは教職員、児童ともに有意義であったという意見が多く聞かれました。異学年との交流で他者のよさに気付いたり、責任者として出し物に関わることで自己肯定感を高めたりすることができたと考えています。また、今年度の最上位目標「自分もみんなもハッピーに」が子どもたちの中に浸透し、そのことが自分のよさに気付いたり他者のよさを考えたりすることにつながったとも考えています。とはいえ、不注意に人を傷つけてしまう言動があり、トラブルにつながることもあります。温かい言葉を日常的に使うことで、他者と気持ちよく過ごすことができるように、継続して、指導していきたいと考えています。</p>		

【矢田シティの様子】

アンケート3 学習について				
評価指標			平均点	判定
教職員	子どもにとって「分かりやすい授業」となるように、指導を工夫した。		3. 5 (3.4)	◎ (◎)
保護者	子どもは、「授業が分かりやすい」と言っている。		3. 3 (3.2)	◎ (○)
児童	先生の授業は分かりやすい。		3. 7 (3.7)	◎ (◎)
⑤	<p>⇒ 教職員、保護者、児童の全てにおいて◎の判定となりました。本校では、昨年度に引き続き、教員の専門性を生かして、一部の学年で教科担任制を積極的に取り入れ、学びの充実を図っています。また、担任外の教員が授業を受け持つことは、担任が教材研究・教材準備をする時間を確保することや、複数の視点で児童を見守ることにつながり、「分かりやすい授業」や「安定した学校生活」の展開につながっています。</p> <p>今後も、子どもたちにとって分かりやすい授業となるよう、さらに指導体制を整えらるとともに、業務改善を進めて授業準備の時間を確保し、各教員は指導力の向上に努めていきたいと考えています。</p>			
アンケート4 生活について				
評価指標			平均点	判定
教職員	子どもにとって「楽しい学校」となるように、指導を工夫した。		3. 7 (3.6)	◎ (◎)
保護者	子どもは「学校へ行くのが楽しい」と言っている。		3. 5 (3.5)	◎ (◎)
児童	学校は楽しい。		3. 6 (3.6)	◎ (◎)
⑥	<p>⇒ 昨年度と同等の判定となりました。学習の個別化や協働化によって、主体的な学びを提供できていることの表れだと捉えています。</p> <p>また、保護者や地域の方々の協力を得ながら、学校として子どもたちに「豊かな学び」を提供できていることも大きな要因であると考えています。今後も、このような結果が得られるよう学校と家庭、地域が手を取り合って教育活動に取り組むことができればと思います。</p>			
				
	【地域の方とともに行った三世代交流会の様子】			
教職員	子どもが、様々な場面で、自分から進んで挨拶することができるよう指導した。		3. 2	◎
保護者	子どもは、様々な場面で、自分から進んで挨拶することができるように指導している。		3. 2	◎
児童	わたしは、様々な場面で、自分から進んであいさつしている。		3. 2	◎
⑦	<p>⇒ 今年度から、評価指標に「自分から」という文言を追加しました。アンケート結果は児童が+0. 1ポイント、保護者は-0. 1ポイントとなりましたが、判定としては、教職員、保護者、児童ともに◎となりました。教職員の振り返りでは、昨年度よりもあいさつの様子がよくなったと感じています。また、校内ですれ違ったときに会釈をしたり、「こんにちは」と挨拶したりする児童も見られるようになりました。気持ちのよい挨拶ができるよう、来年度も継続して指導していきたいと考えています。</p>			

	教職員	子どもが、よりよく生活するために、様々な場面で適切に判断できるように指導した。	3. 4 (3.4)	◎ (◎)
	保護者	子どもが、よりよく生活できるよう、様々な場面で適切に判断できるよう、指導している。	3. 3 (3.2)	◎ (◎)
	児童	わたしは、よりよく生活できるように、考えながら行動した。	3. 2 (3.2)	◎ (◎)
⑧	<p>➡ 「矢田小のやくそく」の大幅な見直しから今年度末で丸三年となります。自分たちでどのようにして決まりを守るべきかを考える習慣もだいぶ根付いてきたように感じます。指導が必要な場面でも、年度目標を意識し「本当に自分もみんなもハッピーか」と問い返すなど、時や場面に応じて、「よりよく生活するためには、自分はどうすればよいのか」を考えられるように意識しています。一方で、細かい決まりがないために、子どもによっては混乱したり不安になったりすることがあるかもしれません。今後も、子どもの様子に応じて必要な声を掛けながら、「みんなが気持ちよく生活できるようにするためにはどうしたらいいのか?」「安全に生活するためにはどうしたらよいのか?」について、継続して意識していくことができるように、働き掛けていきます。</p>			
アンケート5 健康・安全について				
評価指標			平均点	判定
	教職員	安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行った。	3. 4 (3.3)	◎ (◎)
	保護者	学校は、安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行っている。	3. 3 (3.4)	◎ (◎)
	児童	わたしは、安全に関わる行事（交通安全・防犯・防災など）に真剣に取り組んだ。	3. 6 (3.6)	◎ (◎)
⑨	<p>➡ 学校では「万が一」に備え、「想定外」ということがないように、避難訓練や朝会、行事等の折に安全に関わる指導を行っています。「命を守る大切な取り組み」として、子どもたちも真剣に取り組む、充実した訓練が行われています。児童アンケートは、昨年度と同様に（3.6 ◎）という高い結果を得ることができていました。</p> <p>不審者情報が年に数回程度入ってきます。その都度、学校で注意喚起をしたり、「つみきおに」の指導をしたりしています。ご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。</p>			
	教職員	子どもの心身に異常があった場合、連絡や処置を適切に行った。	3. 5 (3.5)	◎ (◎)
	保護者	学校は、子どもの心身に異常があった場合、連絡や処置を適切に行っている。	3. 4 (3.4)	◎ (◎)
⑩	<p>➡ 今年度も、学校での出来事やお子さんの様子について、電話や対面等で、保護者のみなさまとしっかりと連絡を取り、共通理解を図るよう心掛けてきました。保護者のみなさまには、学校からの連絡に対して快く対応していただき感謝しています。今後も、児童の望ましい成長を願い、保護者のみなさまのご協力をいただきながら指導にあたりたいと思います。</p> <p>2学期より、欠席連絡の方法として「きずなネットへの入力」による運用を始めました。多くの皆様にご活用いただき、スムーズに連絡を受けることができています。欠席連絡の際は、引き続ききずなネットのご活用をお願いいたします。</p>			
	教職員	「新型コロナウイルス感染症の感染予防」についての指導を適切に行った。	3. 4 (3.4)	◎
⑪	保護者	学校は、「新型コロナウイルス感染症の感染予防」についての指導を適切に行っている。	3. 5 (3.5)	◎
	児童	わたしは、「新型コロナウイルス感染症」の予防を心掛けて生活することができた。	3. 5 (3.7)	◎

<p>➡ 感染症対策を伴う生活も3年目が過ぎようとしており、良くも悪くも慣れてきた状況かと思えます。児童のアンケート結果が-0.2ポイントなのは、そうした点を反映しているのかもしれませんが。しかし、判定としては◎であり、保護者の皆様にご協力を賜りながら、感染拡大を防ぎつつ、学校生活を維持するために努めてまいりました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>感染症の分類見直しが予定される中、最近はマスクの対応が話題になっています。様々な対応が変わっても、子どもの安全・健康を守るために必要な、手洗いや喚起、体調の確認等は意識していかなければならないと考えています。</p>				
アンケート6 運営について				
評価指標			平均点	判定
⑫	教職員	子どもの悩みやトラブルに適切に対応した。	3.2 (3.4)	◎ (◎)
	保護者	学校は、子どもの悩みやトラブルに適切に対応している。	3.3 (3.2)	◎ (◎)
	児童	先生は悩みやトラブルがあったときは、真剣に話を聞いてくれた。	3.6 (3.6)	◎ (◎)
<p>➡ 保護者、児童は結果に変化はありませんでしたが、教職員は-0.2ポイントでした。「教育相談週間」や日常の関わりの中で、子どもたちから話を聞いたり相談に乗ったりできるようにしています。また、昨年度から実施している、4年生を対象とした、スクールカウンセラーによる全員面談も行いました。児童の思いや考えを知る大切な機会と捉え、次年度も継続していきます。今後は、教職員が情報共有を適切に行い、多くの目で子どもたちをサポートしていける体制を改めて強固なものにしていけるよう取り組みます。</p>				
⑬	教職員	施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えた。	3.4 (3.4)	◎ (○)
	保護者	学校は、施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えている。	3.4 (3.4)	◎ (◎)
<p>➡ 今年度は体育館のリニューアル改修を行いました。次年度は西校舎のリニューアル改修を行います。それに伴い、運動会後にプレハブ校舎を校庭の西側半分 に建設し、一部の学級は2学期以降、プレハブ校舎で生活します。工期は夏休み～令和6年3月上旬までを予定しています。引き続き、皆様にはご不便をお掛けしますが、よりよい教育環境の整備のためにご理解ください。</p>				
⑭	教職員	学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えた。	3.2 (3.1)	◎ (○)
	保護者	学校は、学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えている。(学校だより・ホームページ・ZOOMによる発信など)	3.5 (3.4)	◎ (◎)
<p>➡ 今年度から、きずなネットのメール配信に文書を添付できるようになりましたので、試験的に文書のデジタル配信を始めました。「学校だより」等の文書は今後もデジタル配信を活用しながら、皆様にお届けする予定です。</p> <p>また、先日、市教委からのチラシでお知らせをいたしました。各種のチラシ等は一部が電子配信となり、市教委のホームページで閲覧していただけるようになりましたので、こちらもご活用いただければ幸いです。</p> <p>数年前に、有志の保護者のご協力で学校ホームページをリニューアルし、モデル事業に関する内容を発信してきました。今年度の取組については、年度末に情報を更新していく予定です。</p> <p>今後も保護者の皆様にとって便利な方法で発信できるように努めてまいります。</p>				

## 学校関係者評価委員会を実施しました

学校関係者評価は、学校評価の客観性や透明性を高めるために、「自己評価（教職員）・保護者アンケート・児童アンケートの結果」をもとに、本年度の取り組みについて学校外部の方々に評価をしていただくもので、本校では学校評議員とPTA会長・PTA副会長（学校代表）のみなさまに委員をお願いしています。いただいた意見の一部を紹介させていただきます。



### アンケート1 年度目標「ナゴヤ・スクール・イノベーション モデル実践校」としての取り組みについて

- 自分たちが子どもの頃にくらべると、ずいぶんと学習の様子が変わってきた。自律した態度で自由に学習を進めているところがよいと感じました。保護者はその取組を十分に知らないところもあるのではないかと感じるので、学校は情報提供をこまめにするとよいです。

### アンケート2 年度目標 「キャリアサポート」の取り組みについて

- 自己肯定感を高めたり、自分や友達のよさを見つけて理解したりしていくことは、時間がかかります。また、日常的な取組が必要です。学校と家庭と地域が連携して子どもに働きかけていくとともに、教育の効果を長い目で見られるようになっていくとよいと思います。

### アンケート3 学習について

- 矢田小の取組はすばらしいと感じています。今後は中学校としっかり連携して、小学校と中学校の学習に対して子どもがギャップを感じないようにして行ってほしいです。

### アンケート4 生活について

- 昨年よりも元気な挨拶が聞こえるようになってきました。
- 子どもたちが挨拶のよさを体感できるように、学校と家庭で取り組んでいけるとよいです。
- 代表委員が門に立って挨拶をする活動は大変よかったです。
- 保護者は仕事などもあって挨拶運動に十分参加できないこともあり、これからも地域の方にも見守っていただけると助かります。

### アンケート5 健康・安全について

- コロナ対応については、これまでしっかりと行ってきたと思います。感染症対策の分類が変更になることが話題になっていますが、子どもや保護者が安心して学ぶための対応を引き続きしていけるとよいです。

### アンケート6 運営について

- 子どもたちを中心に据えた活動を今後も行っていくことがとても大切だと思います。
- 矢田小の教育の強みは、子どもの気持ちを「自分のよいところを見つけて磨いていこう」というふうに向かわせるところです。そのための取組を皆さんに理解していただけるよう情報発信を今後ともしっかりと行っていくことが必要です。

これらの意見も、来年度の矢田小学校の教育活動に生かしていきます。